

校訓	盡己	令和7年度学校通信 「松中だより」 第24号	発行日	令和8年2月2日
教育目標	未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

【H7 学校評価アンケート結果】

R7年度学校評価生徒アンケート(前年比較)

設問	肯定的な評価	
	R7	R6
1. 校訓や学校の目指す目標がわかりやすい。	89%	88%
2. 学校へ行くのが楽しい。	86%	87%
3. 学校行事(体育大会、文化発表会、トライやるなど)は楽しい。	96%	89%
4. 授業はわかりやすく楽しい。	80%	82%
5. 先生は、教え方にいろいろと工夫している。	94%	94%
6. 学習でわかりにくいことについて、先生に質問しやすい。	72%	74%
7. 宿題や家庭学習はきちんとしている。	79%	0%
8. 学校は朝の読書や、図書室の利用など読書に力を入れている。	70%	75%
9. 自分を大切にすることや、他の人への思いやりについて学校で教えてもらっている。	91%	91%
10. 先生は学習の成果を適切に評価している。	94%	92%
11. 学校で社会のルールやマナーについて教えてもらっている。	97%	94%
12. 先生は学校のきまりについて、公平に指導している。	91%	90%
13. 困ったときや何かあったときは先生に相談しようと思う。	67%	68%
14. 学校は将来の進路について、正しい情報提供や指導をしてくれる。	84%	90%
15. 先生は進路のことについて相談にのってくれる。	78%	84%
16. 学校で交通ルールや自転車の安全な乗り方を教えてもらっている。	86%	85%
17. 学校は、早寝・早起き朝食をとるなど、規則正しい生活を心がけるように呼びかけている。	84%	86%
18. 教室の黒板、机、椅子等は学習に適するように整えられている。	94%	91%
19. 校舎内や校庭は生活の場として安全で美しく整っている。	91%	86%
20. 自分にはよい所があると思う。	92%	79%

R7年度学校評価保護者アンケート(前年比較)

設問	肯定的な評価	
	R7	R6
1. 学校は校訓(盡己)や教育目標をわかりやすく伝えている。	89%	89%
2. 子どもは、楽しく学校生活を送っている。	92%	93%
3. 子どもは行事(体育大会、文化発表会、宿泊行事、トライやるなど)に積極的に参加している。	96%	96%
4. 先生は生徒の学力向上のため、授業の工夫などに努めている。	88%	90%
5. 学校は積極的に読書に親しむ機会を設けている。	86%	89%
6. 学校は学習の成果を適切に評価している。	96%	93%
7. 子どもは宿題や家庭学習をしている。	73%	76%
8. 学校は、社会のルールやマナーを身につけさせる指導や説明を行っている。	91%	90%
9. 先生は一貫した適切な生徒指導を行っている。	92%	94%
10. 学校に子どものことについて相談できる先生がいる。	83%	77%
11. 学校は将来の進路などについて適切な指導や説明を行っている。	86%	82%
12. 学校は保護者に進路についての情報を知らせている。	85%	84%
13. 子どもは安全ルールや自転車のマナーを守って生活している。	95%	91%
14. 子どもは早寝・早起き朝食をとるなど、規則正しい生活を心がけている。	78%	79%
15. 学校は健康管理について保健だよりなどで保護者に伝えている。	97%	98%
16. 学校は学校の情報を学校便り、学年便りやホームページ等を通じて保護者に伝えている。	98%	96%
17. 学校は子どもたちに自分を大切にすることや思いやりの心を育成する指導を行っている。	90%	90%
18. 学校では子ども・保護者に関する個人情報適切に保護されている。	98%	98%
19. 学校は保護者の願いに応えている。	87%	89%
20. 学校は清掃や施設、設備を大切にすることの育成を行っている。	94%	95%
21. 学校は学習の場として子どもが活動しやすい環境が整っている。	94%	92%
22. 子どもの生活の様子等をよく把握している。	91%	88%
23. 家庭で善悪の判断や社会のルール・マナーについて話すようにしている。	94%	97%

12月にご協力いただいた学校評価アンケートの集計結果をお知らせいたします。概ねどの項目も80%以上の肯定的な回答をいただいております。今年度は体育大会等の学校行事について、生徒が参画し、実施いたしました。そのこともあり、自己肯定感(自分にはよいところがあると思う)の質問については数値があがりました。

学校としては自律と主体性を育むことを念頭に置きながら教育活動を進めておりますが、本当の意味で「主体的な学び」が実現できているかは、まだまだなところがあります。さらに分析を進め、よりよい教育活動を進めていきたいと思っております。

ありがとうございました。



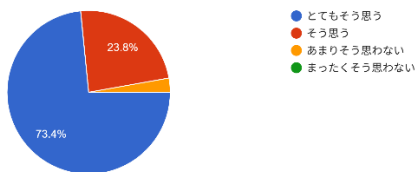
【新しい学びの形 自由進度学習（自由学習）】

「自由進度学習」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？自由進度学習とは、生徒が自分で学習計画を立て、自分のペースで学習を進める「個別最適な学び」の形態のひとつです。一斉授業とは異なり、各々が課題の順番や進み具合を決め、理解度に合わせて先に進んだり復習したりできるため、主体的な学習や深い理解が期待できるまなびかたです。

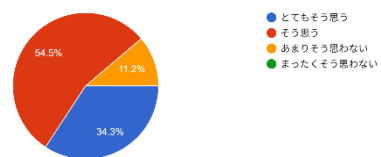
3学期に入り、本校においてもこの形の授業を進める様子が見られるようになりました。1月末までに1年生の国語、社会、数学、2年生の数学でそれぞれ4～5時間を使って1つの単元の一部をこの形で授業を進めました。

以下は2年生数学の授業後のアンケート結果です。

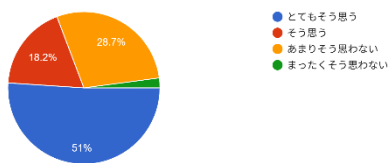
1.自由進度学習(3～6時間目)は楽しいと感じた
143件の回答



2.自由進度学習(3～6時間目)を通して自分に合った学習方法がわかった
143件の回答



3.他の単元や他教科でも自由進度学習(3～6時間目)をやってみたい
143件の回答



概ね7割から8割以上の生徒が肯定的な印象を持っているのがわかります。

他学年の授業を見ている、講義型の授業で机にうつぶしている生徒も、友だちと相談したり、分からないところを聞いたりしながら学習を進めていました。メリットを答える質問にも、集中できた。すぐに聞くことが出来る。自分のペースで進めることが出来る。などの意見がありました。「本当に理解できたかわからない」などの課題もあります。まずはチャレンジすることが大切だと思いました。

10人いれば10通りの学び方があります。ICTの利用や学び方の様々な工夫で、それぞれの学び方を進めていければと思います。

【恵方巻き】

いつの頃からか、節分には恵方巻きを食べるとするのが定番になりました。私の小さい頃は豆まきはしましたが、恵方巻きはなかったと思います。

恵方巻きは、江戸時代末期から明治にかけて、大阪の船場（せんば）を中心とした花街で、商売繁盛や無病息災を願って節分に巻き寿司（太巻き）を丸かじりしたことが起源とされる縁起物です。その年ごとに「恵方（幸福を司る神様がいる方角）」を向いて、黙って、切らずに丸ごと1本食べることで、縁を切らず、福を巻き込むという意味が込められています。

それにしてもスーパーの広告を見ながら

「高いなあ」と思う

今日この頃です・・・。

